



# 核兵器禁止条約の早期発効を

# 国民平和大行進 和歌山→広島コース 5月29日(水) 上富田役場前 出発集会 17:20~

2019年  
原水爆禁止



木村未怜さん (高校生)



庁舎内集会で、町長、議長からの協賛金を教育長より受け取る上富田原水協 榎山さん

5月29日水曜日。上富田町の平和行進です。集会前、総務課と教育長を表敬訪問。町長から協賛金とペナントを、議会議長から協賛金を頂きました。「被爆者募金箱」もご協力頂ける事に。出発集会では、地元代表の田中さんがあいさつ。沖縄辺野古の問題や臨界前核実験に対する抗議を表明しました。次に、梅本昭二三教育長が「核兵器廃絶がうねりとなり世界に届く事を願います。皆様方の国民平和大行進に賛同します」と町長メッセージを読み上げました。続いて、一昨年中学生の時、原水爆禁止世界大会長崎に参加した木村未怜さん(高校生)が「自分ができる事を考えてみました。核兵器廃絶に向けた署名を集め、被爆者の願いを私達若者の活動で広め伝えていきたいです」と挨拶。友人の高校生等二人も一言ずつ発言しました。上富田原水協の榎山さんは「高校生が発言するのは始めて」と笑顔で話します。彼女等は「世界大会長崎に参加したい!」と言っていました。わかやま市民生協からは、溝上佳奈さんが決意表明しました。集会宣言を読み上げ、「青い空は」の合唱。平和行進が出発します。高校生3人が横断幕を持ち、歩きます。集会へは町役場の職員が20名参加頂きました。集会の参加者は51人。ヒバクシャ「国際署名」は32筆、募金は2,736円でした。本日の行進は、串本町です。